



# 杉八だより

平成25年6月1日

杉並区立杉並第八小学校

## 「君は学校も変えられる」

校長 三上 はるひ

この4月から給食で使うお米の一部は岩手県雫石町の藤原さんの作るおいしい「あきたこまち」になりました。

今まで、給食のお米はすべて杉並米穀小売商組合連合会に注文した物で、産地銘柄もお任せしていました(現在は「富山産てんかく」)。これに農薬の少ない「あきたこまち」も使うように変えたのは現6年生です。

現6年生は5年生の総合の時間に「杉八マイ米プロジェクト」として、稻を育てていくことを通して「米のよさを伝え、米離れを止めよう」という課題を設定してこれに取り組みました。これには雫石町役場、雫石町JAの方が食育交流事業として稻の植え方、育て方、収穫法等に大きくかかわってくださいました。実際に米作農家の方に接することで農業の問題点や苦労を知り、農家がいかに頑張っているかも肌で感じました。雫石小との交流もあり、雫石がますます身近になりました。

最後に収穫した杉八米を食べるときに、雫石米と一緒に食べ比べた子供たちは、おいしい米を紹介して米離れを防ぐことを考えつきました。結局全校児童の前でプロジェクトの経過を発表し、栄養士と校長の前で、おいしい雫石米を給食に採用してもらえるようにプレゼンしました。

しかし校長はなかなかうんと言いません。「今だって給食の米は安全でおいしくて安価です。それを何故変えなくてはいけないのですか?」子供たちは自主学習でそれに応えました。放射能検査のこと、東北の米は農薬の回数が少ないと、値段のことはよくわからないけれど、味は自分たちが保証するからと言って、農家の顔の見える米を推薦しました。雫石町の農家の方が、杉八の給食のためならと、とても安価で購入することもでき、結局給食に採用になりました。5年生の行動が学校を変えたのです。

今、子供たちが身の回りに潜む問題を見つけ、解決のために行動に移し、みんなで共有する、という「DFC(デザイン・フォーム・チェンジ)」という教育プログラムが注目されています。自分で考え行動する教育は問題解決能力を養います。「どうせ無理」というあきらめの思考を「やればできる」体験をさせることで、子供たちの自尊心を高めるきっかけ作りをするものです。

3月の卒業式で私は12歳のアメリカの少年トレバーの話をしました。社会科の先生が出した「世界を変える方法を考え、それを実行してきなさい。」という宿題に、トレバーが苦労してたどり着いた方法は、「身近な3人に何か役立つことをする」というものでした。してもらった人はまた3人に役立つことを渡していく、ということを繰り返して、トレバーの行いはいつの間にか少しずつ地域の中に広がっていました。

自分たちの小さな発信も、積み重ねていくことで、学校へ、地域へ、やがて世界に広がり、未来も変えられるかもしれない、そんな経験を小学生にだってたくさんさせてあげたいと思います。

## 安全に気をつけ気持ちよい生活をしよう

生活指導部

梅雨の時期は、廊下や階段がすべりやすくなったり、食中毒が発生しやすくなったりと注意しなければならないことが増える時期です。そこで学校では6月の時期に、「雨の日の過ごし方を工夫しよう」「手をきれいに洗おう」「廊下や階段は静かに歩こう。」「時間を守って生活をしよう」を特に指導しています。

これから益々暑い季節になります。手を洗った後や汗の始末がしっかりとできるように、ハンカチを身につける習慣をつけてほしいと思います。

雨の日は、かさをさして歩くと前が見づらくなります。あわてて登校すると思わぬ事故になることがありますので、時間を守って生活ができるように余裕をもって登校してください。傘をさして歩く時は、前を見て注意して歩くよう学校でも指導していきますが、ご家庭でも普段から声をかけてあげてください。

## 「子どもの健やかな育ちを願って」

### スクールカウンセラー

杉八小に来る日には、いつもわくわくした気持ちで高円寺からの道のりを歩いてきます。カウンセラーとして子どもたちとかかわっていると、一生懸命に学び、友だちや先生とふれあいながら生き生きと生活する中での子どもたちの姿が本当にまぶしく、こちらがエネルギーをもらっているように感じるからです。

心理学では「人には本来、よりよい方向に伸びていこうとする力が備わっている。」と考えられていますが、杉八小のみなさんを見ていると本当にそう思います。ただ、まだ自分の言葉で気持ちを上手に伝えられなかったり、うまく解決する方法を知らなかったりするために、困りごとを一人で解決するのが難しい場合もあるようです。また、不安や悩みを「イライラを相手にぶつけてしまう」「体の不調としてあらわれてしまう」といった形で表に出すことがあるかもしれません。そんな時、子どもの表現していること（言葉や行動、表情など）を大人がしっかりとみつめて受け止めることで、子ども自身が心を落ち着けて気持ちを整理し、自分自身の行動の本当の意味に気付くことができるのではないかと思います。杉八小の子どもたちが健やかに育つため、学校全体で子どもたちの心寄り添っていくことができればと考えています。

## 体育部より

### プール指導について

今年度の水泳指導は6月17日（月）から始まります。水泳の時間は子供たちにとってとても楽しいものですが、まだ十分に水に慣れていない子供にとっては不安感もあるようです。学校では子供たちの発達段階に応じた指導を中心がけ、水に親しみながら恐怖感を取り除き、楽しい水泳の時間にしていきます。

さらに安全面や衛生面にも万全を尽くし、事故の起きないようにしていきます。

ご家庭でも水泳実施日の体調（体温）、耳あかや手足の爪のチェックなど、朝の健康管理はもちろん、朝食もしっかりとるようにしてください。よろしくお願ひいたします。



### 体力テストについて(6/6~14)

今年も6月11日（火）1～4校時に「一斉体力テスト」を予定しています。実施種目は、○50m走 ○20mシャトルラン ○握力 ○上体起こし ○長座体前屈 ○反復横とび ○立ち幅跳び ○ソフトボール投げです。

例年、保護者の皆様にお手伝いいただいております。ご協力をよろしくお願ひいたします。

## エエッ！ 歯みがきて歯が溶ける!?

### 保健室から

●最近、「食後すぐに歯をみがくと歯が溶けてしまう」かのような報道がなされたのをご記憶でしょうか。

これは、飲食物中の酸で歯の表面が柔らかくなっているときにみがくと、歯の表面を破壊してしまうとの内容なのですが、実際には唾液の中和作用もあるので、酸性飲料（炭酸飲料など）を頻繁に取っているのでない限り、すぐに歯が溶けるとは言えないそうです。それよりも、むし歯や歯肉炎の原因となる歯垢を速やかに除去あげることの方が大切です。

炭酸飲料などを飲んだ後には水で口をすぐように習慣づけるとよいですね。

●歯みがきは毎食後3回みがくことが大切ですが、中でも絶対に忘れてはならないのは、夜の歯みがきです。一日の最後の食事の後には、必ず口の中をきれいにして寝ること。睡眠中は唾液の分泌が少ないため、唾液による酸の中和効果も効きにくくなるからです。

●1回の歯みがき時間は、全体の汚れを取り除くためには、最低3分は必要です。

学校では給食時間の最後に、3分間の歯みがきソングを2曲流しています。自宅でみがくときも、この歯みがきソングを頭の中で1曲歌い終わるくらいの時間みがく習慣をつけましょう。



# 今年のクラブ活動が始まりました

## 科学クラブ

身近な材料でできる実験を計画し行っています。第一回目の実験はスライム作り。第二回目は台所洗剤を使ってジャンボシャボン玉を作りました。各学年が協力し合い楽しく活動しています。



## マンガ工作クラブ

自分で、計画を立てて取り組んでいます。1学期は、4コマや、ストーリー、パラパラマンガに挑戦。2学期は、焼き物と木工作。3学期は、自由工作です。みんなで発表会もします。



## ダブルダッチクラブ

ウォームアップとしてダブルダッチと大縄をしています。その後、様々な室内スポーツに取り組んでいます。学年混在の2チームごとに練習を行い、交流を深めています。



## 屋外スポーツクラブ

全員で協力して、野球やサッカーなど、様々なスポーツに取り組んでいます。『できる』喜びや達成感を感じながら、お互いに教え合って成長しています。



## 手芸料理クラブ

年度初めに、自分達で活動内容を決めて取り組んでいます。5月は、フェルトや布を使ったかわいい小物をつくりました。料理では、15分程度で作れる簡単なスウィーツなどを作ります！

